

旭川市報道依頼

各報道機関 様

発表日	平成31年1月18日
発信課	文化振興課
担当者	佐藤
連絡先	電 話 内線 8-6329
	F A X
	E-mail

分 類	☒ イベント・行事 ☐ 募集 ☐ 契約・入札 ☐ 会議・説明会 ☐ その他 (該当する分類を囲むこと。)
日 程	2月 2日(土曜日) ~ 4月7日(日曜日)
発表項目 (行事名)	企画展 井上靖「海峡」展
概 要 (趣旨・日時・ 場所・内容等を 記入すること。)	企画展 井上靖「海峡」展 を開催します。 市民への周知を図るため、取材及び報道についてよろしくお願い申し上げます。 期 間 平成31年2月2日(土曜日)から平成31年4月7日(日曜日)まで 場 所 井上靖記念館(旭川市春光5条7丁目) 休館日 毎週月曜日、ただし月曜日が祝日の場合は翌日・年末年始 開館時間 午前9時から午後5時まで(入館は4時30分まで) 展示内容 大ヒット作『氷壁』が朝日新聞での連載を終えたのは昭和32年8月。次回作に対する周囲の期待が高まる中、井上靖が選んだ作品が『海峡』です。当企画展では、『海峡』の誕生に関わった二人の人物、画家・福田豊四郎(挿絵担当)と鳥類研究家・蒲谷鶴彦(登場人物のモデル)、そして作品の舞台となった青森県下北郡風間浦村に関連する事物を、それぞれの角度から紹介し、その魅力に迫ります。
添付資料	☒ 有 ☐ 無 企画展チラシ
報道(取材)に当たってのお願い	その他詳細については、井上靖記念館にお問合せください。 電話 51-1188 FAX 52-1740 担当 学芸員 佐藤 史倫
備 考	

井上靖記念館 企画展

井上靖 「海峡」 展

アカエリヒレアシシギの集団は海峡の闇の中に、
その啼き聲と一緒に吸い込まれて行った。

小説『海峡』より

2019

2.2_[土] ▶ 4.7_[日]



開館時間: 9:00～17:00(入館受付は 16:30 まで)

休 館 日: 月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日)

主催: 井上靖記念館 共催: (一財)井上靖記念文化財団

後援: 青森県下北郡風間浦村、東奥日報社、日本野鳥の会 奥多摩支部

協力: 蒲谷剛彦、福田美土、医療法人 章士会 三上医院、井上靖文学館

〒070-0875

北海道旭川市春光5条7丁目

TEL 0166-51-1188

FAX 0166-52-1740

<http://inoue.abs-tomonokai.jp>

井上靖記念館

指定管理者 特定非営利活動法人 旭川文学資料友の会

写真: 津軽海峡を渡るアカエリヒレアシシギ 撮影: 今 兼四郎(青森県むつ市)

井上靖記念館 企画展

井上靖「海峡」展

青森県
下北郡

風間
浦村

鳥類
研究家

蒲谷
鶴彦

画家

福田
豊四郎

作家

井上
靖



福田豊四郎が描いた井上靖 井上靖文学館蔵



青森を取材中の井上靖と福田豊四郎 井上靖文学館蔵



週刊読売に掲載された『海峡』挿絵 福田豊四郎作



野鳥の鳴き声を録音
するため、集音機を構
える蒲谷鶴彦

写真提供：蒲谷剛彦
バード・フォト・アーカイブス

それぞれの「海峡」

大ヒット作『氷壁』が朝日新聞での連載を終えたのが昭和32年8月。次回作に対する周囲の期待が高まる中、井上靖が選んだ作品がこの『海峡』です。『海峡』は昭和32年10月から昭和33年5月まで28回にわたり「週刊読売」にて連載された長編小説で、野鳥研究に心を奪われた医師とその妻、雑誌編集長とその部下等が織りなす物語です。作品の終始にわたり、「アカエリヒレアシシギ」と呼ばれる野鳥が登場し、その野鳥を追い求め、物語の舞台は東京から本州の北端、青森県下北半島へと移ります。

当企画展では、『海峡』の誕生に関わった二人の人物、画家・福田豊四郎(挿絵担当)と鳥類研究家・蒲谷鶴彦(登場人物のモデル)、そして作品の舞台となった青森県下北郡風間浦村に関連する事物を、それぞれの角度から紹介し、その魅力に迫ります。



風間浦村の井上靖文学碑 写真提供：風間浦村



文学碑除幕式での井上靖 写真提供：風間浦村



アカエリヒレアシシギの群れ 写真提供：今 兼四郎

■関連事業のご案内■

「海峡展」ギャラリートーク

日 時：平成31年3月16日(土)
13時30分～15時
場 所：展示室企画展コーナー他
内 容：学芸員の展示解説
入館料：無 料
定 員：30名
申 込：電話でお申込みください

交通アクセス

- ◆旭川電気軌道バス(約20～25分)
「旭川駅前」バス停発 5・6・522・80番
※いずれも「春光園前」バス停下車すぐ。
- ◆自家用車
道央自動車道旭川鷹栖インターより約10分
駐車場は建物の裏にあります。大型バス駐車可



井上靖記念館

〒070-0875

北海道旭川市春光5条7丁目
TEL 0166-51-1188 FAX 0166-52-1740
<http://inoue.abs-tomonokai.jp>

※ 70歳以上の旭川市民の方は無料です。
※「団体」観覧料は20名以上に適用されます。
※「バスポート」は最初に観覧した日から1年間有効で、その期間中に何度でも観覧が可能です。
※その他、障がいのある方等への免除制度があります。